

復興宇宙サミット 2026 in NARAHA～^{う え}宇宙を向いて歩こう

【要旨】

東日本大震災復興 15 年、福島県政 150 年を迎える今年、復興宇宙サミットを福島県楡葉町（町政 70 年）で開催する。

本サミットは、きぼうの桜計画および東北復興宇宙ミッションで繋がった全国各地の仲間が一堂に会し、各地域の代表らが復興の先にある未来社会を議論し共創する広域交流の祭典。

コロナ禍をはさみ、これまで7回開催されてきた。多くの青少年に参加を呼びかけ、東日本大震災の記憶と教訓を千年伝える国民文化を醸成する。



【背景】

国際宇宙ステーションを利用し、2021年に遂行した『東北復興宇宙ミッション2021』は、空前の規模の復興祈念事業となった（協力自治体を含めて参加自治体数は51）。そして各地から厳選した記念品を宇宙フライトさせた結果、福島県の宇宙酒をはじめとする、稀少な『宇宙特産物』が創成されている。

コロナ前にワンアースが開催してきた「きぼうの桜サミット」を進化させ、『復興宇宙サミット』として交流の祭典を再開。2023年夏に福島県楡葉町で、24年夏に福島県浪江町にて、2025年秋には南相馬市で開催し、県外からも多くの高校生らが参加し、宇宙へ行った仲間たちの広域交流プラットフォームを再構築した。



これまでのサミットでも議論されてきたように、宇宙ミッションで得られた地域&世代&異分野の交流の継をさらに育て、次世代に継承することが望まれる。特に、地域別に生まれつつある宇宙特産物を融合させ、次の次元へと進むアイデアが若い世代からも多く提示されており、復興の先にある地域発展に追い風を呼びおこすことが期待できる。

【日時】 令和8年 8月7日（金）から9日（日）・・・2泊3日

【開催地】 福島県楡葉町（コミュニティセンター大ホール、みんなの交流館 ならは CANvas、天神岬）

【内容】（現状想定案）

	午前	午後
8月7日 （金）	各自移動	【前夜祭】 ◇ 帰還困難区域等視察（車窓から） ◇ ヤングサミット（各地中高生の交流） ◇ ウェルカム BBQ@天神岬
8月8日 （土）	【宇宙文化祭】 ◇ 浜通り市民芸能 ◇ 小中高生研究発表 ◇ 郷土紹介展示	【継の祭典】1300- @大ホール ◇ 町長挨拶（宇宙飛行士を呼び込む） ◇ 宇宙飛行士講演会 ◇ 交流トーク（15自治体+宇宙飛行士） ◇ 歌のステージ ◇ 夜は交流会「ザ・宇宙パーティー」@しおかぜ荘
8月9日 （日）	【ヤングサミット Final Stage】 ◇ 総合発表 ◇ ヤングランチ@CANvas	各自帰投

【参加想定】

- きぼうの桜および東北復興宇宙ミッションに参加した各自治体代表
- 宇宙業界関係者（協賛企業様、視察企業様：協賛企業はディスカッションに登壇）
- JAXA 宇宙飛行士（リクエスト中）
- 復興関係者



【過去の参加規模まとめ】

	回数	開催地	会期	参加地域数
きぼうの桜サミット	第1回	宮城県七ヶ浜町	2017年8月	6
	第2回	兵庫県淡路市	2018年5月	12
	第3回	福島県楡葉町	2018年8月	15
	第4回	岩手県洋野町	2019年7月	13
2020-22 はコロナ禍のため、集合イベントが開催出来ず 但し、「東北復興宇宙ミッション2021」を遂行				
復興宇宙サミット	第1回	福島県楡葉町	2023年8月	19
	第2回	福島県浪江町	2024年7月	18
	第3回	福島県南相馬市	2025年10月	17

【参加自治体様へのお願い】

正式な参加受付は、追ってご案内いたしますので、まずは出張日程の確保を、お願い申し上げます。

例年通りですが、サミットでは、自治体代表の方におかれましては、Day2（8月8日）の午後【継の祭典】中の『交流トーク』（14時～16時ごろ）にご登壇いただき、口頭で地域紹介の上、他地域代表や若者たちと意見交換をしていただきます。（ワンアースがモデレートいたします）



【宿泊】

中高生は無料。主催者側で手配いたします（サイクリングターミナル展望の宿「天神」貸し切り）。大人で宿泊される方は、事務局ワンアース長谷川までご相談くださるか、ご自身で確保してください。なお、サイクリングターミナル展望の宿「天神」（しおかぜ荘）に宿泊ご希望の方は、お早めにお声掛けください。